

おしのがき

No.37

平成26年2月25日

発行：徳島県吉野川市議会



徳島駅伝大会



目次

議案の審議から	2	市民のページ	15
代表質問	5	クイズ	15
一般質問	7	あとがき	16

平成25年12月議会 定例会

議案の審議から

日程：平成25年12月2日～12月20日

12月定例会では、条例関係案8件、予算案7件、専決関係案2件、その他11件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

産業建設常任委員会

▼平成24年度森林基盤整備事業、森林整備加速化、林業飛躍事業、林内路網整備
林業専用道、西野峰榎谷線開設工事廃止について
▼平成25年度水道事業会計補正予算について

質問
本事業は10割補助とのこと、有利な事業であることから、賛同が得られるとの前提で市側におごりは無かったのか。県への補助金の返還は済んでいるのか。また、請負業者との協議はどうなっているのか。

は整っているが、工事清算金を確定させる必要があり、額の確定後、前払金から返還していただく会計処理となる。

質問
返還金の処理についての正確な額、および市の負担金はいくらになるのか。また、市長ほか職員の処分は。

産業経済部長

県への返還金額は、加算金を含めて2084万3334円で、市の負担金額は790万円から800万円程度になる。

市長

市長は俸給の20%、副市長は10%を3か月間

カット、および産業経済部長を戒告処分、農地林業課長、担当者を厳重注意処分としたい。

産業経済部長

そのような要望は全くなかった。

質問
鴨島配水池築造工事の追加補正について、地盤改良の必要性は元々あるものと分かっていたのでないか。また、工事完了予定はいつになるのか。

さらに追加で補正するというようなことはないのか。

水道部次長

地盤状況については、予算要求した時点では判明していなかった。工期の都合で、用地取得前ではあったが、地権者の了承を得て地質調査を行った結果、はじめて分かったことである。

工期については、現状、平成26年3月31日となっているが、地盤改良工事



鴨島配水池

の関係により、6月末までの完成をめざしている。

追加補正については、は、施工管理業者および工事施工業者からも大きな変化はないと聞いている。今回の変更は現時点では考えていない。

可と決定

文教厚生常任委員会

▼吉野川市山川老人福祉センター条例制定について
▼平成25年度吉野川市一般会計補正予算について

質問
すでに消費税8%を見込み、使用料が設定されているようだが、類似施設の鴨島老人福祉センターでは、どれだけの使用料が見込まれているのか。

福祉総務課長

12月までの使用回数は30回で、その使用料は3万5100円の収入があった。

質問

児童福祉費の電算システム構築委託料945万円の発注業者は、既存のシステム委託業者に頼むのか、入札となるのか。

子育て支援課主幹

システムの構築は既存のシステムを改修して、

前年度と比較して、本年度の見込みであるが、胃がん検診で約77%、大腸がん検診で約46%、子宮がん検診で約41%、乳がん検診で約34%の伸びを見込んでいます。今後も、受診率アップに努めていきたい。

健康推進課長

質問
がん検診でプラスワン事業を取り入れ、受診率が大幅に向上したと聞くが、伸び率はどの程度であったのか。

総務常任委員会

▼平成25年度吉野川市一般会計補正予算について

質問
ごみ分別ガイドブックを見直すという話がある。環境出前講座を小学校10校、中学校1校が実施し、子どもたちの環境学習も行われている。

運転管理センター所長

ガイドブックは、現時点では作業にかかっているが、作成にあたっては絵柄を取り入れるなど配慮して、2月中旬を目途に住民の方が分かりやすいガイドブックにしていきたいと考えている。



旧ごみ分別ガイドブック

平成25年12月議会定例会

代表質問

代表・一般

ここが聞きたい

質問

12月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

◎質問
11月17日の新聞報道によると、総務省が、平成の大合併で誕生した自治体を支援するために役所の支所数に応じて地方交付税を加算する方針を固めたことが報道されており、これは合併後の交付税を上乗せする「特別措置」が期限切れとなる自治体への激変緩和策ということである。

さらに、11月30日の新聞には、景気回復の法人税収の伸びや、消費税増税などで、平成26年度の国の一般会計税収が50兆円を突破する見通しである

地方交付税増は期待できないため
経費削減と歳入確保に取り組みたい
(答弁)

平成26年度予算編成方針は
(質問)



高木 純 (志誠会)

響では大幅な改善は見られない」ということを前提としているが、国の税収増はほぼ確実なので、状況は変わってきたのではないかと。年を越さないと思えない点もあると思うが、これらの報道も含めた、地方交付税をめぐる市の見通しはどうか。

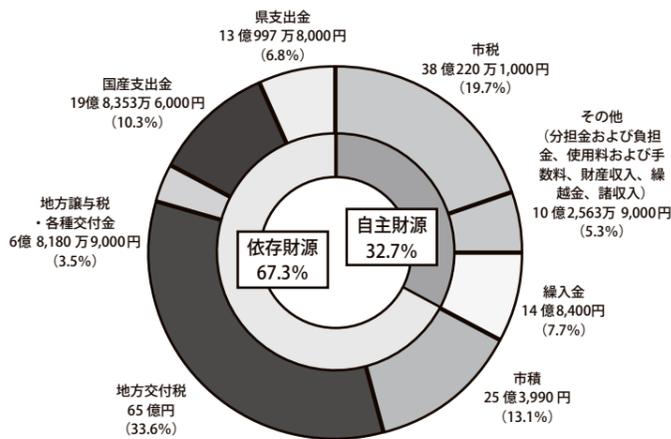
桑村総務部長
激変緩和措置期間の5年間の削減額が現行想定より緩和されることも考慮されていない。

国税収入の増収に伴う地方交付税増は、現時点では期待できない。

えられ、今後国の動向を注視したい。

国の税収の伸びが予想されているが、本市の税収は、平成20年度の43億9000万円をピークに減少を続けている。固定資産税収の減など、平成23年度では39億8000万円まで減少しており景気回復の影響を受けるところまで至っていない。

平成25年度予算 歳入 193億2,706万円



代表質問

① 高木純

- 平成26年度当初予算編成方針について
- 西野峰榎谷線開設改良工事の不適切事務処理について
- 市制10周年記念事業について
- ふるさと納税の取り組みについて
- 交通安全対策について

- ⑤ 細井英輔
- 幼稚園の運営について
- 吉野川市斎場について
- ごみ減量化について
- ⑥ 川村辰夫
- 教育行政について
- 福祉行政について
- ⑦ 阿佐勝彦
- 住宅リフォーム助成制度導入について
- ⑧ 田村修司
- スポーツ振興について
- 高齢者福祉について
- 人事評価制度について
- 市税について
- ⑨ 工藤俊夫
- 学校(義務)教育について
- 飯尾川について
- 人権の花咲くまちづくりの推進について
- 防災対策について
- 市制10周年記念について
- ⑩ 相原一永
- 福祉の向上について
- 小型家電リサイクル法について
- ⑪ 岡田光男
- 市長の政治姿勢について
- 消費税の増税について
- 公共工事の設計労務単価について
- 教育施設の整備について
- 水道事業について
- 公共施設のICT関係の整備について

一般質問

③ 栗原五男

- 汚水処理計画について
- 安全運転対策について
- 観光事業について
- 企業誘致について
- ④ 枝澤幹太
- 教育施設の有効活用について
- LEDの普及促進について
- 認定こども園について

- 下水道事業の推進について
- 介護保険制度の改正案について
- 都市計画区域の再編について
- 下水道事業の推進について

【その他の質問】

◎質問
市制10周年記念事業が形式的なものになってはいけないと考えるが、事業全体の基本コンセプト（基本的な考え方、根本的な思想）は何なのか。

◎総務部長
「夢紡ぐまち吉野川の未来へ」を基本に、本市のよさと魅力を市内外に発信し、市民の皆さんには市への愛着度を高め、また、市外の方には住んでみたいと思える事業内容にしたい。



ちかひさ 善博 (薫風会)

介護保険制度の改正案は

国の動向を見守りながら対応したい

(答弁)

(質問)

◎質問

平成27年度より軽度要支援1・2認定者の介護保険給付が国から市町村へ移行するとあるがサービス面、財源はどうなるのか。

◎鎌田福祉事務所長

現在社会保険審議会介護保険部に提案されているが、市の地域支援事業に移行する場合、本当にサービスを必要とする方が不利益をこうむることのないよう対応したい。

◎再問

厚生労働省は現在、介護保険費8兆円程だが2025年には21兆円。現在の約3倍になる歳出を抑えなければとのこと。予防給付の見直し、要支援1・2は市町村に、要介護2以下は在宅介護への移行、また、自己負担の割合の見直しなどこれらに対して徳島県民主医療機関から、反対するよう請願書が来ている。この法案が可決し実施され、市の地域支援事業に移行した場合、各市町村でバラツキがないようすべきと考えるが、本市としての考えは。

◎建設部長

平成29年度を目標とし廃止にもつていきたい。

◎質問

都市計画区域の線引き廃止の進捗状況、また固定資産税に影響はあるのか。

【その他の質問】

◎鎌田福祉事務所長
訪問介護と通所介護を市の地域支援事業に移行することになり、新たな事業として再構築するなど何らかの対策を国の動向を見守りながら対応していきたい。

◎質問

地方交付税の合併算定替および激変緩和措置について。

◎総務部長

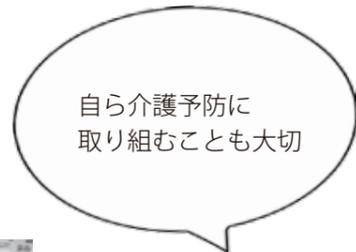
平成27年度より平成31年度まで年々漸減し、現在年間73億円の交付税は平成32年度では60億円程になる見込み。

◎質問

市街化区域内の田畑が対象で線引きが廃止されると一般農地課税となり市全体で820万円程の税減となる。

◎水道部長

全体の接続率は69.9%である。向上には、接続奨励金を増額し、専門的知識を持つ人を普及員として雇用する。



自ら介護予防に取り組むことも大切



介護予防教室

平成25年12月議会定例会

一般質問



くわはら いっお 菜原 五男

菊人形、菊花展について 今後の方針は

(質問)

この催しを次の世代に引き継いでいく

(答弁)

◎質問

鴨島大菊人形は、現在西日本で唯一開催されているイベントである。県外からもたくさんの人を呼べる菊人形展に、駅前通りや銀座通りにも菊人形でストーリーを作つて、話題性を持たせて展示してはどうか。

また菊の花を本市にある吉野川高校の農業のほうで作っていただいたらどうか。
市制10周年記念イベントで、歌舞伎公演を菊人形の期間中にやるという事だが、予算を増やしても続けていけるように

したらどうか。

◎貞野産業経済部次長
第73回鴨島大菊人形展ならびに第81回四国菊花品評会も開催は台風の影響で1週間ほど遅れたが、昨年とほぼ同数の3万人を超える人が来場した。

今後の方針については、菊人形、菊花展実行委員会と協議するが、オープン時の市内書道家による書道パフォーマンスや吉野川高校生が育てた農産物を直売する物産品祭りなどを今後も続けていきたい。



鴨島大菊人形



【その他の質問】

◎質問

空き店舗対策事業の進捗状況は。

◎産業経済部次長

1件の申請をいただいた。今後も市の広報誌やホームページで募集を呼びかけたい。

◎質問
五九郎さんのPRについて市の考えは。

後は、運転管理センターなどでは朝礼を実施し、徹底していきたい。

◎産業経済部次長
毎年6月に五九郎まつりを開催しているが市民の方による取り組みにも協力していきたい。

◎質問
企業誘致について、企業訪問の実施状況は。

◎水道部長
財政局と協議したい。

◎産業経済部次長
企業を訪問して誘致の取り組みはできていない。

◎質問
下水道計画を今後見直す考えは。

◎質問
民間企業との連帯は。

◎環境局長
先進事例を視察、調査研究したい。

◎産業経済部次長
先進自治体を訪問して経過や効果について調査をし、内部で検討している。

◎質問
市町村設置型合併浄化槽を推進する考えは。

◎質問
LED球は従来の製品より数倍の明るさがあり寿命も約10年間と非常に長く、維持管理コストの削減が図られ、電気料金も安価で電気代のランニングコストも大きく軽減され、さらにCO2排出量の削減効果も大きく、すぐれた性能を有し、費用対効果も十分に望める。

◎質問
交通安全指導の取り組みは。

◎質問
LED球は従来の製品より数倍の明るさがあり寿命も約10年間と非常に長く、維持管理コストの削減が図られ、電気料金も安価で電気代のランニングコストも大きく軽減され、さらにCO2排出量の削減効果も大きく、すぐれた性能を有し、費用対効果も十分に望める。

◎質問
市町村設置型合併浄化槽を推進する考えは。

◎質問
LED球は従来の製品より数倍の明るさがあり寿命も約10年間と非常に長く、維持管理コストの削減が図られ、電気料金も安価で電気代のランニングコストも大きく軽減され、さらにCO2排出量の削減効果も大きく、すぐれた性能を有し、費用対効果も十分に望める。

◎質問
交通安全指導の取り組みは。

◎質問
LED球は従来の製品より数倍の明るさがあり寿命も約10年間と非常に長く、維持管理コストの削減が図られ、電気料金も安価で電気代のランニングコストも大きく軽減され、さらにCO2排出量の削減効果も大きく、すぐれた性能を有し、費用対効果も十分に望める。

◎総務部次長
講師を招いての職員研修会を実施している。今



◎質問
本市では、防犯灯や街路灯のLED化に数年前から取り組んでいる。鴨島町の防犯灯は一部で白熱球が使用されていたものがLED球に交換された。

◎増富総務部次長
防犯灯LED化の進捗状況について、まず平成21、22年度で市内中学校区の通学路の防犯灯を96基交換。鴨島町の白熱球防犯灯を平成23、25年度で約1000基交換をした。

◎質問
休廃校となった学校施設の有効活用は。

◎質問
川島子ども園は現在の通園距離と比べ遠くなるが、その対応は。



旧街路灯



LED街路灯

防犯灯のLED化の進捗状況と今後の計画は

◎質問
市全体の防犯灯が1日も早くLED化され、安全、安心なまちづくりのために整備が急務であると考えている。取り組んできた事業の進捗状況と今後の計画は。

◎質問
市全体の防犯灯が1日も早くLED化され、安全、安心なまちづくりのために整備が急務であると考えている。取り組んできた事業の進捗状況と今後の計画は。



枝澤 幹太

◎産業経済部次長
「休校、廃校舎の利活用を考える会」を立ち上げ11月に第1回目を開催した。

◎教育次長
用途の終えた公共施設のあり方に関する総合的な判断の中で具体的な利活用の方針を定めたい。

◎健康福祉部次長
保護者に送り迎えをお願いしたい。

市内全域で幼稚園の預かりを実施する考えは

(質問)



ほそい えいすけ
細井 英輔

川島こども園が開設され次第、順次実施

(答弁)

◎質問
今回、10月に試行として幼稚園での給食が週3回、1か月間実施されたが試行は問題なく実施できたのか。また課題があるとすれば、それはどのようなことなのか。幼稚園給食のアンケート結果は。

◎福島教育次長
アンケートの回収率は85%で実施回数の希望調査は多い順に週5日が約6割、週3日が約3割、その他が約1割でした。主な意見としては、偏食がなくなつた。献立を楽しみに幼稚園に行つてい

る。家庭で子どもとの会話が增えたなどの意見が多く、運営面については、給食および配膳時間の確保、園児の安全管理、配送車による運搬も含め、事故なく無事試行を終えることができた。課題については、各園の実情に応じて創意工夫することに対応できると考える。次年度以降は週5日の実施の方向で検討し、食育を踏まえた教育課程の編成の工夫および入園説明会で保護者への周知など、万全の態勢で完全実施につなげたい。



幼稚園給食試行

◎再問
今回配膳係を配置したが、同じ雇用するのであれば幼稚園で預かり保育を実施して、正規職員を採用することを検討してはどうか。

◎再問
今回配膳係を配置したが、同じ雇用するのであれば幼稚園で預かり保育を実施して、正規職員を採用することを検討してはどうか。

◎福島教育次長
預かり保育担当職員の増員による各幼稚園での預かり保育実施については、保護者の強い要望でもあり、子育て支援の観点からも検討してきた。吉野川市幼・保再編構想に基づくこども園が開設され次第、順次実施していく。

◎環境局長
現状においては考えていない。

◎質問
可燃ごみ減量の状況は。

◎環境局長
10月末現在で127tの減量。

【その他の質問】



かわむら たつお
川村 辰夫

健康寿命の延伸対策についての本市の考えは

(質問)

介護予防・疾病予防を充実する

(答弁)

◎質問
日本の平均寿命は、戦後生活環境の改善や医学の進歩で大幅に延びた。一方、少子化の影響もあり、人口の高齢化が急速に進んでいる現状である。

◎質問
日本の平均寿命は、戦後生活環境の改善や医学の進歩で大幅に延びた。一方、少子化の影響もあり、人口の高齢化が急速に進んでいる現状である。

◎質問
そのような中、厚労省は健康に長生きすることを重視し、平成13年度から平成22年度の国民健康づくり計画案に健康寿命を延ばすとする目標を盛り込んだ。健康寿命を延ばすことは介護サービスを受けることなく生活の質を向上させ、人生のぎりぎりまで楽しめるようにすることである。さら

◎市内健康福祉部長
健康で元気に暮らすことができれば、この期間を延ばす、そのために具体的には介護予防と疾病予防、この2つが大きな柱だと考えている。

り組んでいる。現状の事業を維持しながら充実させるとともに、新しい予防メニューを開発していく対策を講じたいと考えている。

次に、疾病予防では、生活習慣病や虚弱体質を改善させることが重要であり、保健師や看護師による綿密な健康相談の実施や健康診断の結果を活用した健康指導を行っている。

多くの高齢者の方が元気に、そして尊厳をもって生き生き暮らすことができる町をめざしたいと思っている。

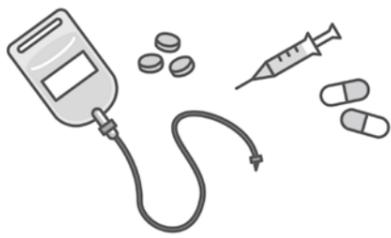
◎再問
手元にある資料の中で、介護予防教室の件数で川島の件数が多くて鴨島、山川、美郷の件数が少ないと感じるが、希望があれば実施するのはなく、市の方から働きかけて介護予防を実施しては、攻めの活動をしなければ効果は上がらないと思う。実施会場を現在より多くして、たくさんの方々に受けてもらうよう、積極的に進めていく必要があると思うが。

◎辻内健康福祉部長
健康福祉部の方から働きかけて、講習をしたいと考えている。

【その他の質問】

◎質問
土曜授業について委員会を立ち上げて検討してほしい。

◎教育次長
今後、保護者の要望や学校長の意見も十分聞きながら検討したい。



◎質問
いじめ防止のための教職員研修が規定されたが、今後の取り組みは。

◎教育次長
いじめ防止に対する研修を明確に位置づけ、今までよりも一歩踏み込んだ研修を実施したい。



住宅リフォーム助成制度 導入について

県の運用変更を参考に

(答弁)

◎質問
住宅リフォーム助成制度の導入について、まず1点目に県下の導入の状況について、導入していない市については非常に少ないと考えている。徳島市では1億の予算を組み、それでも足らず追加予算を組んだと聞いているが。

震部分しか助成していないが導入の検討は。

◎松岡建設部長
住宅リフォーム助成制度の県内における状況は県内24市町のうち10市町

で単独事業として取り組まれている。鳴門市では、来年度からバリアフリー化を義務つけた制度を創設予定。徳島市は1億円で、後に3000万円を9月に補正。

住宅リフォーム助成制度の導入については、本市の住宅改修の考えは南海トラフ巨大地震から建物の倒壊、家屋の転倒による圧死から市民を守る対策を早急に実施。

市内業者の振興については高度の技術を要するもの以外は市内業者を中心としている。

リフォーム助成制度の導入について、徳島県が変更を検討しており、耐



耐震改修工事

阿佐 勝彦



ドバイザーを設定し、時間をかけて夢のある取り組みを行う。子どもたちは一流のアスリートともな過ぎず時間で必ずや成長する。

また、市民にとっては、練習風景を見るだけでも楽しめるのではないかと。

◎大久保教育次長
国や県の動向もふまえながら、体育協会に加盟する団体やスポーツ推進委員とも協議しながら、さらなるスポーツへの関心を高め、競技力の向上を図る取り組みについて検討する。

【その他の質問】

◎質問
健康長寿徳島一という目標を掲げてはどうか。

◎福祉事務所長
多くの高齢者の方々が元気に尊厳をもって生き生きと暮らすことができたい。



吉野川市スポーツ少年団 清掃活動

震改修と同時にフフォーム工事も補助対象になる予定となっている。

県の運用が変更になれば本市も新しい運用制度に対応となる予定。

◎再問
導入に向けて、阿南では、タンスに金具をつけることが、リフォーム補助対象の条件としている。この様に、基準のハードルを下げ、また、補助金請求に関わる手続きを簡素化しては。

◎松岡建設部長
耐震改修工事の採択条件は、本市が進めている現方針の変更はできないと思っている。

申請申し込みは県内市町村全て同じ方法。徳島県に登録し実施することを認めてもらうようになる。

オリンピック塾をつくってはどうか

(質問)



田村 修司

競技向上への取り組みを検討する

(答弁)

◎質問
東京がオリンピックの開催地に選ばれ、7年後に向けていやが上にもスポーツ熱は高まっていくことと思われる。スポーツは子どもたちの心と身体をたくましく育て、また見るものには、勇気と感動を与えてくれるものである。東京開催は県内アスリートにとっても大きな目標となるだろうし、本市の選手がオリンピックで頑張っている姿をぜひとも見たい。

ところが、徳島県勢のスポーツの力は一向にふるわない。今年の国体で

は、昨年に続き最下位という結果だった。この不名誉に対して飯泉知事は「国体選手が競技のために3泊するのには県はずっと1泊分しか補助してこなかったが、今後は全額を補助することにした。

中学で全国優勝するような選手がいるのにスカウトされて県外に出てしまふ。これを引き留めたい。県職員の採用も体力も含めて面接を重視する」とスポーツ振興へ思いを語っている。

徳島県のレベルは、イコール本市のレベルであると思われるが、本市で

は、市民の体力増進、スポーツ振興についてどのような方針、展望をもっているのか。

◎大久保教育次長
スポーツ振興の基本的な考え方は、市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう身近なスポーツ活動機会の提供に努めるとともに、スポーツ推進員の育成や地域スポーツ団体への支援、交流大会などを通じてスポーツ振興を図っていききたい。

◎再問
東京オリンピックが開催される7年後、主役は今の小中高生たちである。

例えば「吉野川っ子オリンピック塾」と銘打ってトレーニングセンターを開設し、各小学校、中学校から運動ナンバー1の選手を募り、強化選手とし、それぞれの光る能力を伸ばし育てる。トレセンには子どもたちの憧れとなるようなスポーツア



岡田 光男

消費税の公共料金への転嫁は安易にすべきではない (質問)

利用者に応分の負担をお願いしたい (答弁)

○質問 消費税の大増税により、4月以降の景気を懸念する声がある。増税分を安易に公共料金に転嫁すべきではないと考えるが、

また、消費税増税による本市財政への影響は。

○桑村総務部長

4月より増税分が市の施設維持経費にも上乗せされるため、受益者負担の原則に基づき、利用者の方に応分の負担をお願いしたい。

本市財政への影響は平成24年度決算ペー

○再問 公共施設の使用料などの消費税は、国に税金として納めなくても良いことになっている。

○再問

消費税が8%になれば、この増収入分で、施設使用料など公共料金の値上げは回避できないか。

また、市議会では「消費税の中止を求める意見書」が全会一致で可決を

している、性急な増税分の公共料金への転嫁は、あまりにも議会を軽視していないか。

○桑村総務部長

消費税増税分についても、医療や福祉、子育て支援の財源に充てるべきものと考えている。「消費税の中止を求める意見書」が全会一致で可決されたことは大変重く受け止めているが、社会全体の流れや時代の変化に対応せざるを得ないと考えている。

○再々問

市長は消費税増税分の上乗せ作業を指示する前に、値上げ回避や増税分の吸収方法を、各部署に指示することが市長の仕事ではないのか。

○川真田市長

増税分を施設の使用料に転嫁しない場合は、経費の増税分を市民に負担していたこととなるため、利用者の応分の負担をお願いせざるを得ない。

いと考える。

【その他の質問】

○質問

森林基盤整備事業を廃止した事の重みは。

○市長

市民の住環境や地域産業の再生を図る大変重要な事業で、廃止は大変重く受け止めている。

○質問

設計労務単価15%引き上げを現場労働者に還元する方法は。

○建設部長

受注業者に対し、適切な賃金水準の確保などの対応を通知し、指導していく。

○質問

一中グラウンドの水はけや夜間照明は。

○教育次長

状態は把握している、対応策について検討していきたい。

○質問 水道料金の減免制度は。

○水道部次長 水道料金の減免要綱の改正をしたい。

○質問

公共施設でのインターネット環境の設備は。

○総務部長

市内15か所で、無料のネット利用できる環境整備をする。

議会だより NO.36の訂正 P.6に掲載しました真野産業経済部次長の答弁⑤で、「現状2件の申し込みがある」は、「現状2件の相談がある」の誤りです。 P.15のクイズの設問で「全国の地名」は「各国の地名」の誤りです。訂正し、お詫び申し上げます。

意見書

- ▼年金2.5%引き下げの中止を求める意見書
▼賛成多数で可決
提出者 岡田 光男
▼四国への新幹線導入に関する意見書
▼賛成多数で可決
提出者 栗原 五男
▼農地転用の権限の地方への移譲を求める意見書
▼異議なしで可決
提出者 栗原 五男

本議会討論

「教育委員会委員の任命について」討論が行われ、賛成多数で可決された。

竹の不思議

山川町 原田 親光

南方ではタケノコの早掘りが始まったとか。だが、庶民には手に届かぬ。タケノコにはアク抜きでいかようにもなるあなた任せの食物だ。いつも頭部を1/3ほど斜に切り縦に1本の切口を入れる。ゆでるには1割の糠と白水、トウガラシを、それぞれ1本ずつ入れ味をしめる。2時間強火で煮てそのまま自然にさらす。竹の皮をとり平行に切る。口の中に入れると頬でタケノコのさわやかさを感じた。

吉野川市議会ですべての竹林の繁茂の処置を話していた。竹は成長の早さの神秘性、偉大な再起性・強靱と弾力の有効性で活用された。吉野川の氾濫に備えた竹やぶは藩政時代の厳しい対策だった。今は竹筋コンクリートや築堤に利用する。また、山崩れや地震の避難所も地下茎の張りだ。エンジンの電球フィラメントは日本の竹だった。建築用・かご・食器・熊手・ホウキ・毛筆の軸・扇子・うちわの日用品・笛・尺八の楽器・剣道の竹刀・茶・生

花具の芸術用として竹炭にも及んだ。バンブーパークでは竹林浴として整備した遊歩道を歩くのもよい。筍の漢字は一句(10日の生長)の意味だが蛋白質、脂肪分はタマネギと同じだ。健康の青汁として、クマザサの葉エキスが売られている。ビタミンCが含まれている。わが家ではマガリタケを植えて皮ごと焼き剥いて食べる。ネコが体の調子が悪いとまっ先に葉を噛む。ビタミンKがあることを知っている。動物が竹の中へ逃避するのは破滅の兆しという。パンダは小腸が短い竹の若葉を食べる。花が咲き枯れだし心配しているという。床ずれの民間薬は古竹の虫食いのところに溜った糞の黄色い粉を振りかけると早く治る。

クイズ



体のパーツの名前です。漢字をカタカナに直してください。

- ①旋毛 ⑤黒子
②丁髷 ⑥毗
③雀斑 ⑦項
④睫 ⑧踝

○正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

○応募要項

はがき、またはFAXに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

○送り先

〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
☎(0883)22-22241
FAX(0883)22-22242
平成26年4月4日(消印有効)

○締切日

チョットひと言

☆議会だより興味深く読ませていただいています。

市民のページ、クイズ、あとがき、とてもよかったです。

☆2度目の挑戦です。辞書なしでは全問解答できませんでした。

☆知っているようで知らない国名でした。勉強になりました。

○(前回の回答)

- ①アイスランド ②カナダ ③タイ ④オランダ
⑤フランス ⑥イギリス ⑦ロシア ⑧エジプト

【応募総数】46通

市民のページ

タケノコぐらい不思議な植物はない。「草でも木でもない竹だ」というほかない。堤防のマダケは昭和50年に花が咲き実をつけ枯れた。竹は地下茎で無性繁殖するので男、女竹はない。翌年太い竹になった。再生竹で60年周期で黄金の花を咲かせ実をつける。米のようにひょうたんではな

くいびつで煮て食べたが淡白だった。ネズミが大繁殖したある地方で天保3年の大飢饉に干し貯えていた実で助かったという。竹の年齢は枝先の枯れた数を数える。ササを枯らすには甘草(薬局で1本200円ぐらい)の根を折ってところどころにさしておく。

花具の芸術用として竹炭にも及んだ。バンブーパークでは竹林浴として整備した遊歩道を歩くのもよい。筍の漢字は一句(10日の生長)の意味だが蛋白質、脂肪分はタマネギと同じだ。健康の青汁として、クマザサの葉エキスが売られている。ビタミンCが含まれている。わが家ではマガリタケを植えて皮ごと焼き剥いて食べる。ネコが体の調子が悪いとまっ先に葉を噛む。ビタミンKがあることを知っている。動物が竹の中へ逃避するのは破滅の兆しという。パンダは小腸が短い竹の若葉を食べる。花が咲き枯れだし心配しているという。床ずれの民間薬は古竹の虫食いのところに溜った糞の黄色い粉を振りかけると早く治る。



募 集 要 項

表紙の写真 募 集



テーマ 吉野川市で撮影した
季節の風景や祭り、行事など。

規 定 モノクロおよびカラープリント
2L判～四切・W四切組
写真も可(3点まで)
住所・氏名・電話番号・題名を明記。

締め切り 平成26年4月30日(消印有効)
発行は5月です。季節感のあるものをお願いします。

その他 作品の返却は行いません。採用された作品の
使用およびトリミングなど加工については、
吉野川市議会広報特別委員会に帰属するこ
とをご了承ください。

応募先 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

市民の皆さんの声を掲載

… 規 定 …

- 400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
- 締め切り

平成26年4月4日(消印有効)

*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。
校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

市政についての苦言
やアイデア、趣味や人
生観など多岐に渡っ
て文章を募集します。
フアックスでも結構で
す。

…あて先…

〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242



徳島駅伝大会中継所

吉野川市選手団は選手層が薄い分、中学生が高校生区間を走るなど当初から厳しい戦いになると言われていました。選手全員が奮起し昨年を上回るタイムで総合11位と健闘してくれました。

中でも最終日の吉野川合同庁舎から徳新吉野川支局
若い人たちが日々精進を重ねて練習し、競技に全力で取り組み姿を見て、初心に立ち返り、吉野川市の発展に努めたいと、心新たにしています。

岸田 益雄

編 集 委 員

- | | |
|-------|---------|
| 委員 長 | 岡 田 光 男 |
| 副委員 長 | 細 井 英 輔 |
| 委 員 | 塩 田 智 子 |
| | 岸 田 益 雄 |
| | 藤 原 一 正 |
| | 川 村 辰 夫 |
| | 栞 原 五 男 |

あとがき

「新春の阿波路を駆ける徳島駅伝」が1月4日から3日間行われ、各都市代表のランナーが県内を地元の応援を受けながら、タスキを繋いだ駅伝は、1年の始まりを実感させられました。

同選手は、京都市で行われた都道府県駅伝に県代表として出場し、力走を見せてくれ、私たちに新たな感動を与えてくれました。

までの2.9km女子中学生区間では、本市選手が全力を出し区間トップで、倒れ込みながらタスキを繋いだ姿は、中継所に集まった人たちに大きな感動を与えてくれました。

